別添１

基本評価シート

様式

（広島県　環境県民局自然環境課）

基本評価シート（ニホンジカ）

１．事業の基本情報

事業名（※１）	指定管理鳥獣の捕獲		
都道府県名	広島県	担当者部・係名	環境県民局自然環境課
担当者名	橘	担当者連絡先	082-513-2933
捕獲実施事業者	（株）サンロック （認定を受けている・~~受けていない~~）	予算額（※２）	41,948,889 円
		予算額の内捕獲に要する経費（※３）	2,731,379 円

（※１）交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。
（※２）予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。
（※３）予算額の内、捕獲に要する経費は、平成 28 年度から適用される交付金所要額調書様式１－２「２指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

〇令和６年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標（目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
40 頭	25 頭	62.5%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
66,167 頭（R6）	１～２頭/㎢（農林業地域） ５頭/㎢（保護優先地域）	―
狩猟捕獲数（R6）	許可捕獲(有害)（R6）	許可捕獲(個体数調整)（R6）
4,761 頭	13,413 頭	526 頭

〇これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

―

２．令和７年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	本事業については、効率的な捕獲手法の検討を目的として平成 27 年度から実施している（H27 はモデル事業）。本県においては、狩猟の促進及び有害捕獲により個体群管理を進めているが、生息数を減少させるには大幅な捕獲数の増加が必要である。 したがって、当県においては、狩猟及び有害鳥獣捕獲で不足する部分を補完することを目的として同事業に取り組んでいる。基本的には農林業被害に対応するための有害鳥獣捕獲は市町が主体となって実施していることから、同事業は、有害鳥獣捕獲や狩猟での捕獲が困難なエリアなどの地域を優先するなど、市町が行う対策とすみ分けて実施していくこととしている。 ※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。
	【選択欄】 ☑ 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。 ☐ 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 ☐ 効果的な捕獲手法の開発を行なった。 ※事業実施目的に最も近いものを１つ選択。
人材育成の観点	☐ 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和７年 12 月～令和８年２月
実施区域	広島市東区　緑化センター・森林公園鳥獣保護区 シカの生息密度が高いものの、狩猟や有害鳥獣捕獲では捕獲があまり行われていない場所での捕獲を行うこととした。 ※１：実施区域の特徴も記入 ※２：事業計画の地図がある場合は、図面を添付
関係機関との協力	ひろしま遊学の森（広島県緑化センター、森林公園） 施設管理者としての協力
事業の捕獲目標	（62.5%達成） ＝（25 頭　実績値）／（40 頭　目標値）
捕獲手法	【銃猟】 ☐ 誘引狙撃　☐ 巻き狩り　☐ 忍び猟 ☐ モバイルカリング　☐ 夜間銃猟 ☐ その他（　待ち伏せ猟　） 【わな猟】 ☑ くくりわな　☐ 箱わな　☐ 囲いわな ☐ その他（　　） ※１：各種猟法の定義は 10 ページ参照、※２：複数チェック可
捕獲個体の確認方法	☑ 個体の身体の一部（尾） ☑ 写真（詳細を記載：捕獲者との写真、スケール有　　） ☐ その他（　　） ※複数チェック可。
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について ☐ 全て焼却又は埋設を行っている。 ☑ 一部、食肉等への活用を行っている。 ☐ 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について ☐ 錯誤捕獲の情報を収集している。 ☑ 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について

	☑ 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：誘引餌の限定〔ヘイキューブ〕） ☐ 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について ☐ 鳥類の鉛中毒症例がない。 ☐ 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について ☐ 全て鉛製銃弾を使用している。 ☐ 一部、非鉛製銃弾を使用している。 ☐ 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	来園者の安全確保のため、来園者が増える休日前には歩道沿いのくくりわなは撤去した。また、わなの設置場所やニホンジカの出没情報については、施設管理者と情報共有を徹底している。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】（認定事業者への委託） 捕獲従事者数：７人 （内訳） 正規雇用者：７人、期間雇用者：−人　　日当制：−人

３．令和７年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

〇指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：シカの生息密度が高いものの、狩猟や有害鳥獣捕獲が進んでいない区域での捕獲について、40 頭の捕獲目標を立て捕獲に取り組んだ。
	改善点：捕獲に従事する事業者と協力して以下に記載の改善点に取り組み、より効率的な捕獲を実施できるよう取り組む。
【実施期間】	評価：草木が生い茂る時期の捕獲はニホンジカの痕跡確認が難しいため、秋季以降の捕獲が最適である。
	改善点：今期は例年より低温で雪が多かったため、わなの作動に支障があった。今後は１か月程度前倒しして捕獲を開始するよう検討する。
【実施区域】	評価：昨年度は緑化センターの区域に限定して捕獲を行ったが、今年度は森林公園の区域を追加し、捕獲を行った。ただし、捕獲可能な区域の面積が増加したとはいえ、人目に付く場所は避けてほしいとの要望があったため、わなの設置個所が制限されていた。そのため目標を達成することが困難であった。
	改善：わなの設置個所について、捕獲したシカを運びだしやすいように道路の近くに設置しているものが多かった。そのため、人目に付きやすい部分はあったのではないかと思う。今後、捕獲を行う場合は山中にも設置を行うようにする。
【捕獲手法】	評価：来園者が多くいる都合上目立つわな（箱わな、囲いわな）を置くことは難しいため、すぐに撤去が可能なくくりわなを使用することとした。
	改善点：特になし。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：緑化センター及び森林公園内での捕獲であったため、地元との連携はないが、施設管理者と連携し捕獲体制を構築することができた。
	改善点：特になし。
【個体処分】	評価：全て自家消費を行い、無駄なく活用できた。
	改善点： 特になし。
【環境配慮】	評価：特になし。
	改善点：特になし。

【安全管理】	評価：来園者の安全確保のため、来園者が増える休日前には歩道沿いのくくりわなは撤去した。また、わなの設置場所やニホンジカの出没情報については、施設管理者と情報共有を徹底した。
	改善点：特になし。

3. その他の事項に関する評価及び改善点

特になし。

4. 全体評価

捕獲事業実施場所は鳥獣保護区であり、広大な敷地で来園者が多くいる都合上有害鳥獣捕獲の実施にあたり調整に時間を要することから、ニホンジカの捕獲が進まない状況だったが、当事業において安全管理に配慮しながら捕獲を進めることができた。

当県のニホンジカの捕獲は、主として市町による有害鳥獣捕獲や県（農業担当課）による捕獲事業であるが、これらは農業被害対策を目的として捕獲を行うため、農業とは無縁の地域での被害は捕獲活動の対象外となる場合が多い。また、多くの来園者がいる施設等は、安全管理上の面から施設の管理者との調整が難航し、積極的な捕獲が行われていない場合がある。このような捕獲が進みにくい場所において、捕獲を積極的に進められるような環境を整えていくことが課題である。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

〇第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

生息数を減少させるために大幅な捕獲数の増加が必要である状況下において、安全管理上の理由により捕獲が進みにくい場所での捕獲に集中して取り組むことで、捕獲対策の推進に寄与するものである。

４．必須となる記録項目

（１）データの整備状況

ア）基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項　目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	□ 行政区域（都道府県・市町村）ごと □ 事業区域ごと ☑ ５㎞メッシュ □ １㎞メッシュ □ 捕獲地点（緯度経度） □ 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	☑ 捕獲した個体の総数	

	☑ 雌雄の別 ☑ 幼獣・成獣の別 ☐ その他捕獲した個体に関する情報 （歯の採取〔齢査定用〕※齢査定未実施）	
③目撃数	☐ 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	☐ 銃猟：のべ作業人日数※ ☑ わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

※のべ作業人日： 捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ）捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	☑ ５ｋｍメッシュ地図　☐ １ｋｍメッシュ地図 ☐ 地点（緯度経度）地図　☐ 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	☐ ５ｋｍメッシュ地図　☐ １ｋｍメッシュ地図 ☐ 地点（緯度経度）地図　☑ CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	☐ ５ｋｍメッシュ地図　☐ １ｋｍメッシュ地図 ☐ 地点（緯度経度）地図　☑ SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

（２）実施結果（必須となる記録項目）

ア）捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1：-人日

事前調査人日数概数※2：-人日

出猟（捕獲作業）人日数：-人日

項　目	令和６年 （事業年度の値）	令和５年 （前年度の値）	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	人日	人日	☐増加　☐減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1：144 人日

事前調査人日数概数※2：-人日

出猟（捕獲作業）人日数：126 人日

項　目	令和７年 （事業年度の値）	令和６年 （前年度の値）	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	489 基日	1,148 基日	□増加　☑減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ）捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項　目	令和７年 （事業年度の値）	令和６年 （前年度の値）	増減の傾向
①捕獲数	-	-	□増加　□減少
②目撃数	-	-	□増加　□減少
③雌雄比 （雌捕獲数／全捕獲数）	-	-	□増加　□減少
④幼獣・成獣比 （幼獣数／全捕獲数）	-	-	□増加　□減少

令和７年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
□　誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 □増加 □減少	頭/人日 □増加 □減少
□　巻き狩り	頭	人日	頭/人日 □増加 □減少	頭/人日 □増加 □減少
□　忍び猟	頭	人日	頭/人日 □増加 □減少	頭/人日 □増加 □減少

□ モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 □増加 □減少	頭/人日 □増加 □減少
□ 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 □増加 □減少	頭/人日 □増加 □減少
□ その他 （　　）	頭	人日	頭/人日 □増加 □減少	頭/人日 □増加 □減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項　目	令和７年 （事業年度の値）	令和６年 （前年度の値）	増減の傾向
① 捕獲数	31 頭	31 頭	□増加 ☑減少
②雌雄比 （雌捕獲数／全捕獲数）	13/31	22/31	□増加 ☑減少
③幼獣・成獣比 （幼獣数／全捕獲数）	1/31	6/31	□増加 ☑減少

令和７年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
☑ くくりわな	25 頭	489 基日	0.051 頭/基日 ☑増加 □減少
□ 箱わな	0 頭	基日	頭/基日 □増加 □減少
□ 囲いわな	0 頭	基日	0 頭/基日 □増加 □減少
□ その他 （　　）	頭	基日	頭/基日 □増加 □減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ）捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数：　人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：25 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法 　１頭ごとに捕獲個体確認書を添付する

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後においてする銃器を使用した鳥獣の捕獲等。


庄原
三次
神石高原
北広島
安芸高田
安芸太田
世羅
府中
安佐北
福山
安佐南
広島市
東
三原
尾道
東広島
佐伯
西
中
南
府中
安芸
廿日市
海田
竹原
熊野
安芸
(南)
坂
呉
大竹
大崎上島
江田島

別添３

指定管理鳥獣捕獲等事業に係る捕獲実績報告【わな猟】

様式

【わな猟】

指定管理鳥獣捕獲等事業に係る捕獲実績報告様式

記入上の留意事項

- 捕獲努力猟に関する項目は、**捕獲期間中にわなを設置した場所ごとに、設置したわなの種類、数、設置日数、従事した技術者延べ日数を報告**してください。
- 捕獲に関する報告については、**捕獲した日、捕獲場所、捕獲したわなの種類ごとに、捕獲した鳥獣の種類と数及び処理の概要を報告**してください。

１．事業番号

-

２．捕獲努力量に関する報告

設置場所					設置数				稼働延べ日数				従事した技術者延べ日数
市町村、地名	メッシュ番号				はこわな	囲いわな	くくりわな	その他	はこわな	囲いわな	くくりわな	その他	
広島市東区	A	5	4	1			16				405		126
広島市東区	A	5	4	2			6				91		126

３．捕獲に関する報告

出猟年月日	出猟場所 上段：地名 下段：ﾒｯｼｭ番号	捕獲したわなの種類	性別	捕獲数				処置の概要	備考
				シカ		イノシシ			
				成獣	幼獣	成獣	幼獣		
年　月　日	市町村、地名		オス						
	メッシュ番号		メス						
Ｒ８年１月１日	広島市東区	くくりわな	オス					自家消費	
	Ａ　５　４　１		メス	1					
Ｒ８年１月１日	広島市東区	くくりわな	オス					自家消費	
	Ａ　５　４　２		メス	2					
Ｒ８年１月２日	広島市東区	くくりわな	オス	2				自家消費	
	Ａ　５　４　１		メス	1					
Ｒ８年１月２日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	Ａ　５　４　２		メス						
Ｒ８年１月６日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	Ａ　５　４　１		メス	1					
Ｒ８年１月６日	広島市東区	くくりわな	オス					自家消費	
	Ａ　５　４　２		メス	1					
Ｒ８年１月７日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	Ａ　５　４　１		メス						
Ｒ８年１月８日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	Ａ　５　４　１		メス						

出猟年月日	出猟場所 上段：地名 下段：ﾒｯｼｭ番号	捕獲したわなの種類	性別	捕獲数				処置の概要	備考
				シカ		イノシシ			
				成獣	幼獣	成獣	幼獣		
年　月　日	市町村、地名		オス						
	メッシュ番号		メス						
R８年１月 16 日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	A 5 4 1		メス						
R８年１月 20 日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	A 5 4 2		メス						
R８年１月 23 日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	A 5 4 1		メス						
R８年１月 30 日	広島市東区	くくりわな	オス					自家消費	
	A 5 4 1		メス	1					
R８年２月４日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	A 5 4 2		メス						
R８年２月５日	広島市東区	くくりわな	オス		1			自家消費	
	A 5 4 1		メス	1					
R８年２月５日	広島市東区	くくりわな	オス					自家消費	
	A 5 4 2		メス	1					
R８年２月６日	広島市東区	くくりわな	オス	1				自家消費	
	A 5 4 1		メス						

出猟年月日	出猟場所 上段：地名 下段：ﾒｯｼｭ番号				捕獲したわなの種類	性別	捕獲数				処置の概要	備考
							シカ		イノシシ			
							成獣	幼獣	成獣	幼獣		
年　月　日	市町村、地名					オス						
	メッシュ番号					メス						
R８年２月24日	広島市東区				くくりわな	オス	1				自家消費	
	A	5	4	1		メス						
R８年２月25日	広島市東区				くくりわな	オス					自家消費	
	A	5	4	2		メス	1					
R８年２月26日	広島市東区				くくりわな	オス					自家消費	
	A	5	4	1		メス	1					
R８年２月26日	広島市東区				くくりわな	オス					自家消費	
	A	5	4	2		メス	1					
	A	5	4	1								
	A	5	4	1								